



子どもはほんとうに言葉の天才です

まど・みちお

ソフィアでは、幼児クラスを中心に『漢字かな交じり絵本』を取り入れています。

これは、漢字を早く覚えるためではなく、言葉の意味を理解し、物語の情景を豊かに思い浮かべる力を育てるためです。例えば、「私は友達と公園で遊びました」という文章は、「わたしはともだちとこうえんであそびました」と、書くよりも、意味がわかりやすく場面をイメージしやすくなります。

「はな」という言葉だけを聞くと、イメージがわきにくいですが、漢字で「花」「鼻」、

「はし」は、「橋」「箸」「端」など、漢字表記にすると容易にイメージできます。

漢字にはそれぞれに意味があるので、想像しやすいのです。

子どもたちは、漢字を絵のようにとらえながら、自然と言葉の世界を広げています。

0. 1. 2歳児クラスでは、絵本や化学の本、自然や生き物の本などに親しみながら言葉への興味や好奇心を育てています。そして、ソフィアでは、子どもたちの名前を漢字で表記しています。

名前は保護者の方からのお子様への最初のプレゼントではないでしょうか。

一文字一文字は健やかな成長への願いやわが子への深い愛情が込められています。

私たちは、その大切なプレゼントに込められた思いをそのまま子どもたちへ伝えたいと考え、漢字で表記しています。これからもソフィアではさまざまな絵本や本との出会いを通して、言葉を知る楽しさ、考える喜び、そして、豊かな想像力を育てていきたいと思ひます。

ソフィア東生駒こども園 園長 中畑 直実

